

## 経営情報学会 2015 年春季全国研究発表大会

大会実行委員長 柴 直樹  
日本大学生産工学部

2015年5月30日(土)～31日(日)の二日間にわたり、日本大学生産工学部のある習志野市津田沼キャンパスにおいて、2015年春季全国研究発表大会が開催されました。

大会が開催された日本大学津田沼キャンパスは、かつての日露戦争での活躍で知られる日本軍騎兵第1旅団を構成していた騎兵第14連隊跡地に位置しています。騎兵第1旅団の活躍については、司馬遼太郎の小説「坂の上の雲」に詳しく描かれているので、ご存知の方も多いかも知れません。

二日間の会期中は連日真夏を思わせる陽気に恵まれ、二日間で200人弱の方々に参加いただきました。習志野原の地まで足をお運びいただいた皆様方に、厚く御礼申し上げます。本稿では、この大会の二日間を振り返ってみたい。

### 1. 大会テーマと招待講演

大会の統一テーマとして掲げられた「インテグレートド・インダストリー～情報システムがつなぐ新しい生産・流通・販売～」というフレーズは、生産から販売にいたるサプライチェーン全般における情報システムの役割の重要性が叫ばれる昨今の状況を鑑み、同時に、日本大学の「生産工学部」キャンパスにおいて開催されるということも踏まえて設定されました。本大会での基調講演、特別講演の2件の招待講演もこのテーマに合致した講演者をお招きすることができました。

初日30日(土)に行われた基調講演には、新日鐵住金株式会社顧問の上島良之氏をお招きし、「環境調和社会の実現を目指す製鉄技術開発」というテーマでご講演いただきました。君津市中核製鉄所をもつ新日鐵住金は、千葉県を代表する製造業企業です。今大会の統一テーマのなかの「生産」部門の代表企業として、環境との調和を中心にその取り組みをご講演いただきました。製鋼技術の革新に長

年携わってこられた上島氏の技術者としての熱意が、ひしひしと伝わってくる講演でした。

二日目31日(日)に行われた特別講演には、SAPジャパン株式会社インダストリークラウド事業統括本部プリンシパルコンサルタントの村田聡一郎氏をお招きし、「インダストリー4.0—ドイツに学ぶ、インテグレートド・インダストリーの実践例」というテーマでご講演いただきました。SAPがドイツにおいて主導する「インダストリー4.0」は、昨今インテグレートド・インダストリーの代表例として取り上げられることが多いように見受けられます。村田氏の講演では、インテグレートド・インダストリーの日米独各国の取り組みの比較が論じられると同時に、インダストリー4.0の取り組みが実例を交えて詳しく紹介されました。インテグレートド・インダストリーの理解につながる興味深い講演でした。

### 2. ポスターセッション

ポスターセッションには4件の発表がありました。本大会では、ポスターセッションを他の一般セッションとは並行させない単独のセッション枠として設定しました。そのためか、多くの方にオーディエンスとしてセッションに参加いただき、活発な議論が行われました。各発表者によるセッション会場全体への3分間の発表後、オーディエンスが興味のあるポスターの前に集まり、さらに説明と質疑が時間いっぱいまで行われました。各ポスターの前には多くの人が集まり、熱心な質疑応答が繰り返され、大変盛況なセッションとなりました。

### 3. パラレルセッション

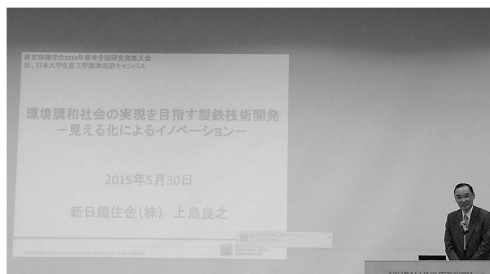
本大会では、一般セッションに合計56件の発表がありました。これら一般セッションと並行して、

「人とITとの共創」特設研究部会主催によるセッションが1件、研究部会主催によるセッション2件（「ICTと教育」研究部会、「官の情報システム」研究部会）、チュートリアル・セッション1件（「新制度派経済学における最近の展開」）が開催されました。

#### 4. 懇親会

懇親会は、恒例により初日30日（土）の夕刻から行われました。本大会の全セッション会場を収容する講義棟内の2階にある食堂がその会場となり、約70人の参加者をお迎えしました。懇親会直前に開催された理事会において新会長に就任が決まった木嶋恭一氏による挨拶に続き、開催校を代表し、日本大学生産工学部の清水正一学部次長から歓迎の挨拶をいただきました。4年の会長任期を終えたばかりの平野雅章氏による乾杯の発声により、会は歓談へと進行了ました。懇親会の中盤、前期大会の三委員長への感謝状の授与が行われました。続いて、次期大会を紹介する熱の込められたプレゼンテーションが行われ、会場は大いに沸きました。

以上のとおり、二日間にわたる大会は、盛会のもと無事終了しました。関係各位のご尽力とご協力に心より感謝いたします。



上島良之氏による基調講演



村田聡一郎氏による特別講演



ポスターセッションの様様